

東証スタンダード・名証メイン

証券コード：2185

CMC GROUP

株式会社シイエム・シイ

2022年9月期 通期連結決算説明

- 1.業績報告
- 2.業績見通し
- 3.成長戦略への取組み
- 4.参考資料

1.業績報告

業績サマリー

増収増益を達成、最高益更新

技術マニュアルは計画通り、デジタル化ニーズへの対応により収益性が向上

単位:百万円

	2021年9月期	2022年9月期	前期比
売上高	17,331	17,917	+3.4%
売上総利益	6,541	6,860	+4.9%
営業利益	2,277	2,590	+13.7%
(営業利益率)	(13.1%)	(14.5%)	(+1.3 ^{ポイント})
経常利益	2,421	2,964	+22.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,618	2,003	+23.8%
EPS (※)	118.93円	150.56円	+31.63 ^円
ROE	10.4%	12.0%	+1.6 ^{ポイント}

※2021年10月1日付で1株につき2株の株式分割を実施。2021年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定しEPSを算定。

4

【売上高】

技術マニュアル案件が計画通りに推移し、前期比3.4%増の179億17百万円。

【営業利益】

デジタル化ニーズに対応したサービス・商材の提供による利益構造の変化、海外案件の円安影響、ICT活用による効率化等が寄与し、前期比13.7%増の25億9千万円。

【経常利益】

為替差益により前期比22.4%増の29億64百万円。

以上の結果、

親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比23.8%増の20億3百万円。

営業利益、経常利益、当期純利益において、過去最高益を達成。ROEは12%。

貸借対照表

単位:百万円

資産の部	2021年9月末	2022年9月末	差額
流動資産	15,261	17,102	+1,840
（内、現金及び預金）	9,931	11,504	+1,573
固定資産	5,807	5,524	▲282
資産合計	21,068	22,626	+1,557
負債及び純資産の部	2021年9月末	2022年9月末	差額
流動負債	3,455	3,459	+3
固定負債	1,650	1,635	▲15
負債合計	5,106	5,094	▲11
株主資本	15,441	17,020	+1,579
その他	521	511	▲10
純資産合計	15,962	17,532	+1,569
負債純資産合計	21,068	22,626	+1,557

【流動資産】

主に現預金が増加。

【純資産】

前期末比で増加し、自己資本比率は77%。

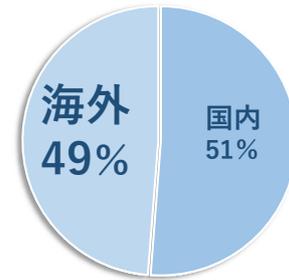
事業分類別売上高

デジタル化対応による商材変換が進捗（ゆるやかな増収基調へ）

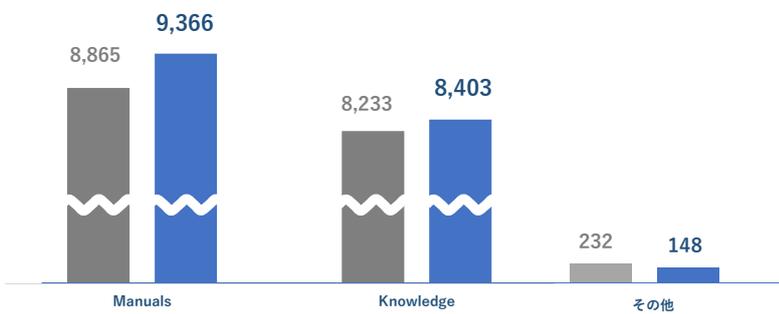
単位:百万円

売上高	2021年9月期		2022年9月期		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比
Manuals	8,865	51.2%	9,366	52.3%	+5.6%
Knowledge	8,233	47.5%	8,403	46.9%	+2.1%
その他	232	1.3%	148	0.8%	▲36.3%

ご参考) 仕向け先別売上高



※国内 国内市場向けの商材・サービス
 ※海外 海外市場向けの商材・サービス



【Manuals】

技術マニュアルや学術資材関連の受注拡大より、増収。

【Knowledge】

アナログからデジタルへの商材転換が進捗。

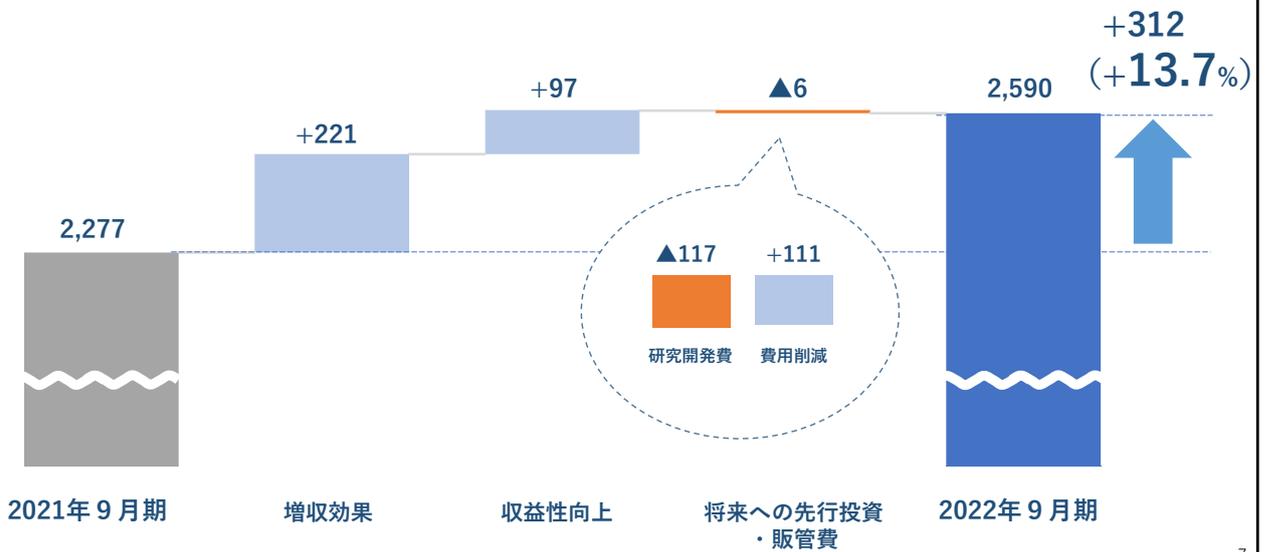
ご参考)仕向け先別売上高

海外現地法人がコロナ禍から回復基調にあることや円安影響に加え、技術マニュアルの拡大により、海外向けの売上高が増加。

営業利益増減要因

デジタル化対応の取組みにより増益

単位:百万円



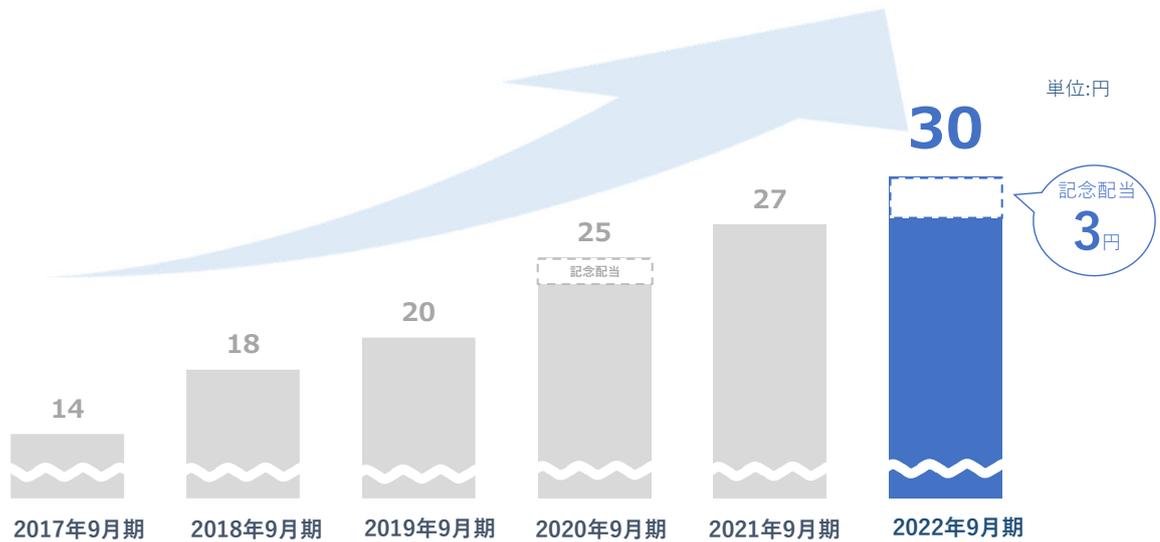
【営業利益増減要因】

増収効果に加え、デジタルコンテンツの増加による収益性の向上が寄与。
販管費においては、新商材の研究開発をはじめとする将来への先行投資が約1億円増加。
一方で、RPA等を活用した効率化によるコスト低減に取り組み、前期比増益を達成。

連続増配

5期連続の増配

自己株式の取得も実施



8

【連続配当】

今後の研究開発や海外戦略への投資も勘案し、60周年記念配当3円を加え、1株あたり30円。また、期中には自己株式の取得を実施。

2.業績見通し

2023年9月期は、**3期連続の増益**を予想

単位:百万円

	2022年9月期	2023年9月期 (予想)	前期比
売上高	17,917	18,000	+0.5%
営業利益	2,590	2,800	+8.1%
(営業利益率)	(14.5%)	(15.6%)	(+1.1^{ポイント})
経常利益	2,964	3,000	+1.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,003	2,100	+4.8%
EPS	150.56円	158.57円	+8.01円
ROE	12.0%	11.4%	▲0.6^{ポイント}

10

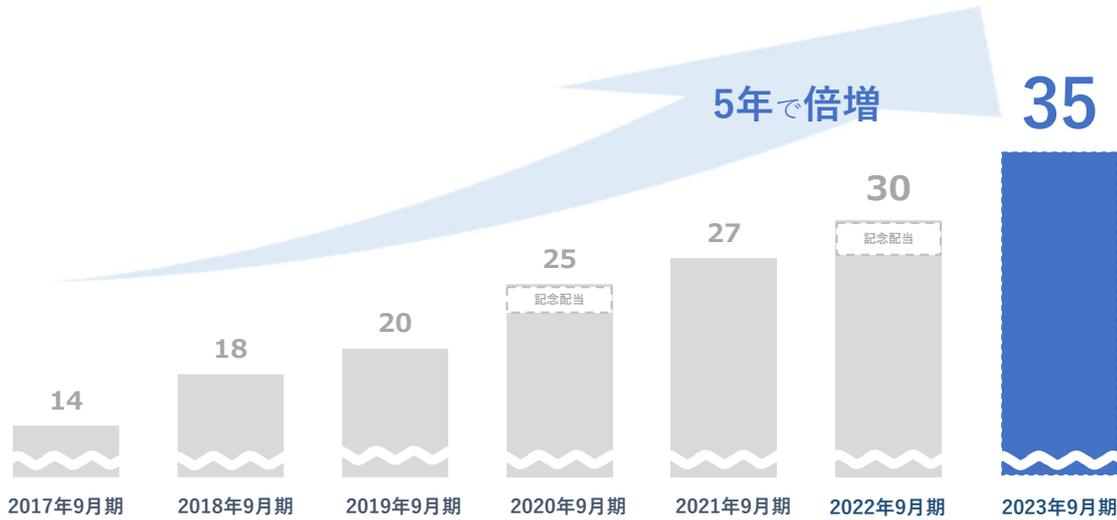
- ・ 2023年9月期は、ウクライナ情勢やお客さま企業の動向など、不透明な事業環境の中、ビジネスモデル変革を確固なものとする、「投資先行の期」。
- ・ 2023年9月期は増収増益を見込む。
売上高 180億円
営業利益 28億円
経常利益 30億円
親会社株主に帰属する当期純利益 21億円

配当予想

6期連続の増配予想

業績動向、財務体質、将来に向けた投資に必要な内部留保等を総合的に勘案し、
配当金額の継続的な増額を実施

単位:円



11

【配当予想】

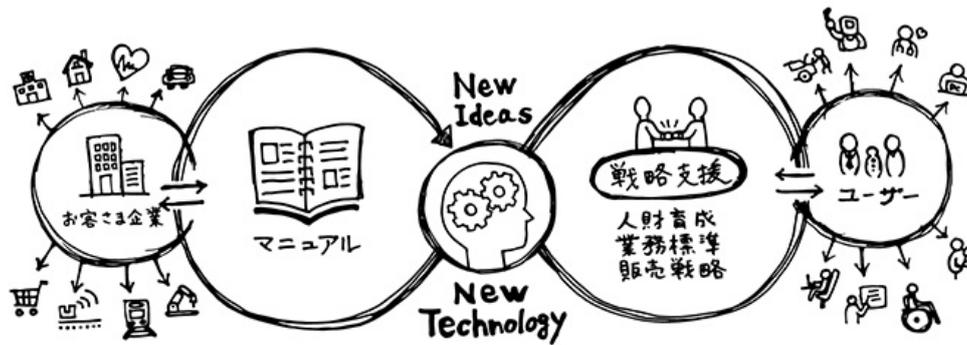
安定的に継続的な増配を目指す方針のもと、
5円増額の1株当たり35円。(6期連続の増配)

3.成長戦略への取組み

中期経営計画の実現に向けて

「マニュアル制作」を通じて
お客さま企業を深く理解し、

「戦略支援」を通じて
ユーザーを深く理解する



このサイクルを回し続けることで、
お客さま企業を全面的にサポートし、行動変容に導く

13

【当社グループのビジネスモデル戦略】

- ・ 「マニュアル」とは、
技術情報・お客さま情報・製品知識・現場でのカンコツなど、
お客さまを深く理解すること。
- ・ 「戦略支援」とは、
「マニュアル」で培ったノウハウを活用し、人財育成・業務標準・販売戦略などを通じて、
お客さま企業を全面的にサポートすること。

中期経営計画の実現に向けて

我々が創り出す情報のユーザーエクスペリエンス（顧客体験価値）を**最大化**し、**情報価値向上サイクルの実現**をめざす



14

【持続的な情報価値向上サイクル】

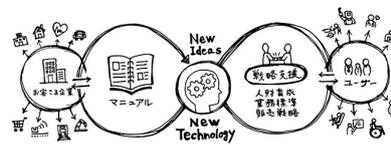
- ・お客さま企業の技術情報や製品情報、カンコツなどの情報を体系化し、情報を必要とする人へ、「必要な時に」、「必要な情報を」、「最適な方法」で提供することで、ユーザーのうれしさを創出。
- ・ユーザーの情報活用動向を分析して、データベースへ反映することで、次の情報提供の質が向上。

中期経営計画の実現に向けて

我々が創り出す情報のユーザーエクスペリエンスを最大化し、
ビジネスを次世代の価値に進化させる

人財を育てる

次代の価値をつくる
ための人財育成

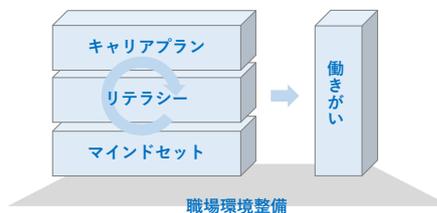


Manuals & Knowledge

データを育てる

次代の資産とするため
のデータ育成

人財への積極投資を通じて
次代に必要な人財育成を加速



デジタル変革の取組みを通じて
次代に資産となるデータ育成を具現化



15

中期経営計画の方針 「2030年に向け、人財を育てる、データを育てる」

【人財を育てる】

職場環境の整備に加え、マインドセット、リテラシーの向上、キャリアプランの実現、のサイクルを回し、働きがいを醸成する取組みを行い、次代に必要な人財育成を加速。

【データを育てる】

お客さま企業と共創しながら、「データをつくる、つなげる」、「データを貯める」、「データを分析、変換する」、「データを利活用する」取組みを進め、次代の資産となるデータ育成を具現化。

デジタル活用によるユーザーのうれしさ創出をめざした共創活動を拡大
将来に向けた、新ビジネスの創出を模索



DX認定事業者として、「データをつくる・つなげる」取組みを推進

(データを育てる取組み_デジタル変革の推進をサポート)

業務手順の棚卸を支援する「KAIZEN FARM」の提供開始後、 「データを貯める・利活用する」取組みが進む



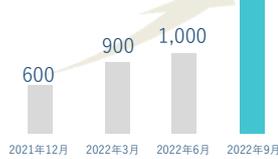
導入企業・団体数

130社を突破



業務棚卸登録数

1,700件超



業務棚卸情報

ボタン一つで

電子マニュアル生成

RPAによる省人化
有効業務を自動分析

チャットボットの
QAづくりを容易化

業務改善DXツール
ラインナップの随時拡大

様々な業界、業種の業務手順データ蓄積が進み、
業種別業務手順の標準化に取組む

DX連携ツールのラインナップ拡充のための
開発・アライアンスを推進

KAIZEN FARMに関する情報はこちら <<https://kaizenfarm.jp/>>

(データを育てる取組み_業務標準化オープンプラットフォーム KAIZEN FARMの進捗紹介)

整備作業効率化アプリ「楽々エーミング」をリリース 整備事業者のお助けツールとして、働き方改革・整備業界のDX化への貢献をめざす



エーミング支援アプリ「楽々エーミング」は

エーミング作業の時短をサポートする
拡張現実 (AR) アプリ



2022年4月
リリース



©テレビ愛知「5時スタ ローカルビジネスサテライト」

日本経済新聞

日経産業新聞

中部経済新聞

販売パートナー契約を締結した整備機器販売商社
イヤサカを通じて、販売活動を展開

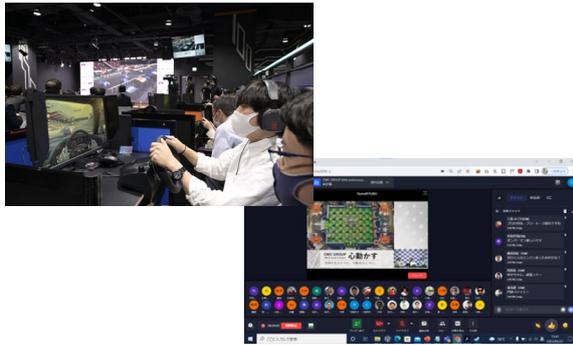
各メディアからの注目を獲得、
本取組みの社会からの受容性を再確認

* エーミング・・・自動車の電子制御装置整備における機能調整作業のこと
* 楽々エーミングは、シイム・シイの商標登録です (出願中)

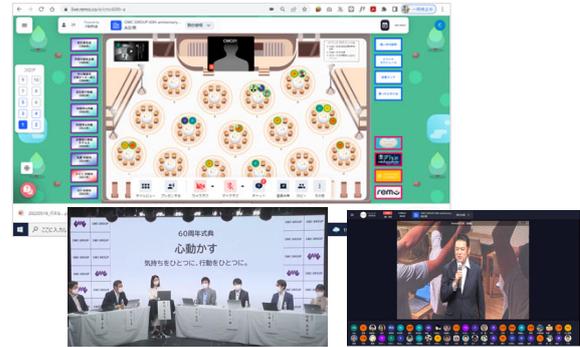
楽々エーミングに関する情報はこちら <https://www.cmc.co.jp/cms/wp-content/uploads/2022/04/oshirase_20220420.pdf>

(データを育てる取組み_自動車整備事業者向け働き方改革・DXサポートビジネス 楽々エーミングの進捗紹介)

新たな技術やしぐみを体感し、変革に向けたマインドを醸成
時代の変化に対応するためのリテラシー向上に取り組む



eスポーツを活用した社員懇親イベントを通じて、
Z世代を熱狂させるしぐみを体感

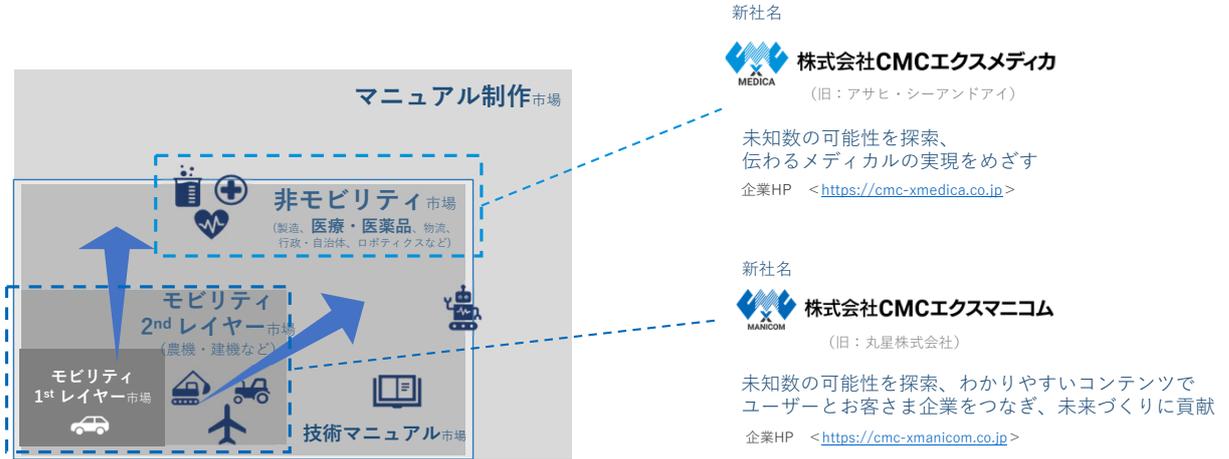


オンラインカンファレンスツールを活用した
周年式典にて、新たなコミュニケーション技術を理解

*ゲームタイトル_PlayStation 4用ソフト『グランツーリスモSPORT』 (c) 2017 Sony Interactive Entertainment Inc. Developed by Polyphony Digital Inc.
*ゲームタイトル_『スーパーボンバーマンオンライン』 ©Konami Digital Entertainment

(人財を育てる取組み_ビジネスモデル変革に向けた「マインドセット」と「リテラシー向上」)

グループ子会社の社名変更 各社の役割を明確化し、グループ全体で市場戦略を進める



(人財を育てる取組み_グループ一体感の醸成)

CMC GROUP

2023年9月期 第1四半期累計期間の決算発表は、
2023年2月10日（金）を予定しております。

4. 參考資料

企業プロフィール

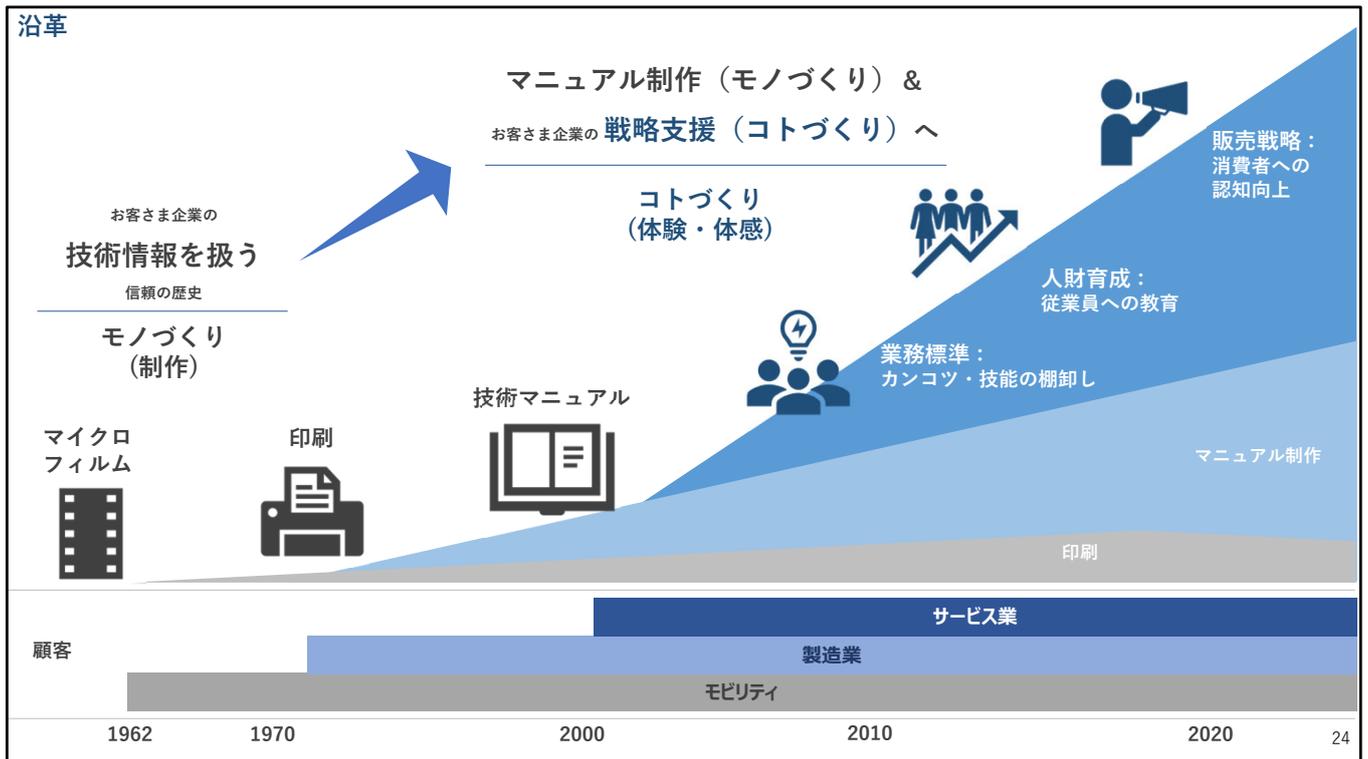
▶社名	株式会社 シイエム・シイ
▶設立	1962年5月
▶住所	名古屋市中区平和1-1-19
▶代表者	代表取締役社長 佐々 幸恭
▶資本金	6億5,761万円
▶従業員数	446名（単体）/909名（連結）
▶グループ会社・拠点	19社（国内9社、海外10社） 30拠点（国内16拠点、海外14拠点）



※健康経営に関する取組み <<https://www.cmc.co.jp/corporate/esg/>>

※2022年9月30日現在

23



- ・ 企業（商材）の寿命は約30年。
お客様企業の技術情報を扱い続けながら、時代の変化に対応し、商材を変化。

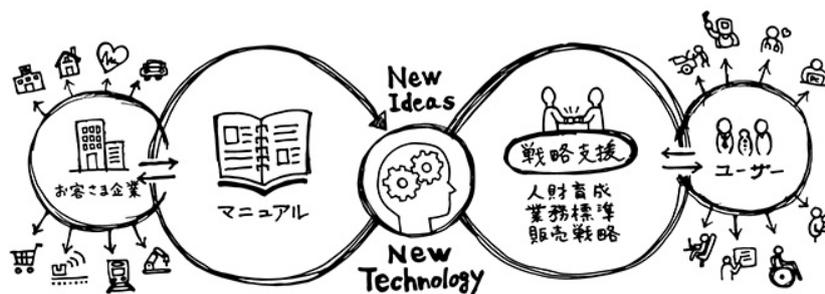
モノづくり：マイクロフィルムにはじまり、印刷、技術マニュアルなど
コトづくり：業務標準、人財育成、販売戦略など
業界拡大：モビリティ・製造業・サービス業

- ・ 情報を必要とする人へ
「必要な時に、最適な方法で、必要とする」情報を伝える、という
ビジネスの本質は変わらず、時代に合った形にビジネスモデルを変革・成長させる。

ビジネスモデル戦略

「マニュアル制作」を通じて
お客さま企業を深く理解し、

「戦略支援」を通じて
ユーザーを深く理解する。



このサイクルを回し続けることで、
持続的な需要 と 高い参入障壁 が生まれ、
独自のビジネスエコシステムを構築。

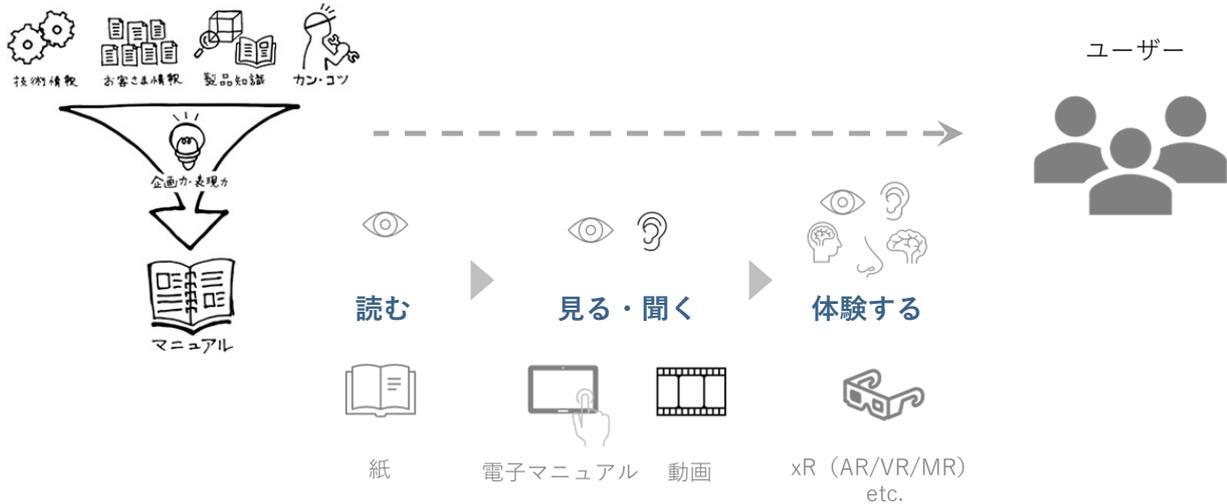
25

【当社グループのビジネスモデル戦略】

- ・ 「マニュアル」とは、
技術情報・お客さま情報・製品知識・現場でのカンコツなど、
お客さまを深く理解すること。
- ・ 「戦略支援」とは、
「マニュアル」で培ったノウハウを活用し、人材育成・業務標準・販売戦略などを通じて、
お客さま企業を全面的にサポートすること。

マニュアルはなくなる“情報の宝庫”

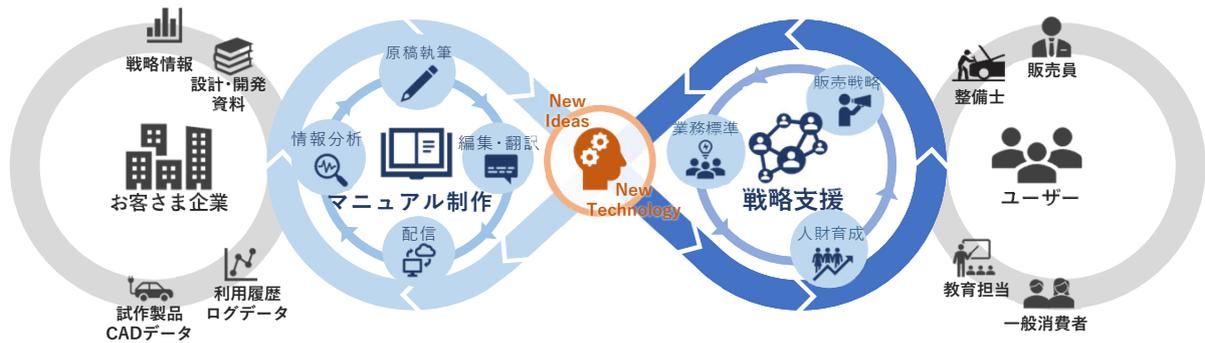
時代やユーザーシーンに合わせ、情報提供の手段が変化



【マニュアルの本質】

- ・ 取扱方法の情報、修理の情報、製品の情報など、マニュアルの“情報”そのものはなくなる。
- ・ 「読む」→「見る・聞く」→「体験する」等、時代やユーザーシーンに合わせ、情報提供の手段が変化し続ける。

約 **50%** 大手自動車会社における「技術マニュアル」の当社シェア



【ビジネスモデル戦略の好事例】

中部地区 大手自動車会社さまの技術マニュアルの当社シェアは約50%。

Who we are



時代の変化に対応し、
変わり続ける

0個

創業時から続く
商材の数



一流企業に鍛え上げられた
品質と信頼性

約60年

大手自動車会社との
取引年数



仲間づくりと
グループ総力の結集

約8倍

グループ3社
M&A前後の
営業利益増加



圧倒的なナレッジと経験を持つ
マニュアル業界最大手

約50%

大手自動車会社における
技術マニュアルの
当社シェア



先端技術の
開発・活用

約25%

グループ全従業員
ICT人材比率



利益・配当の
継続成長

5

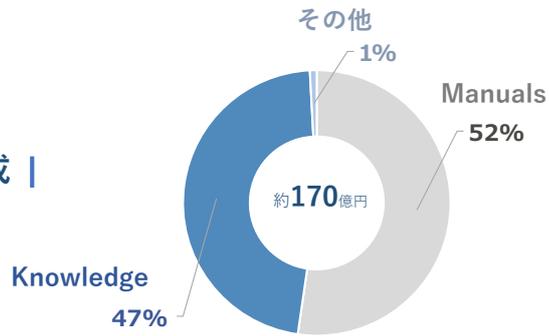
期連続
直近の実績で
5期連続増配

当社グループの特徴を6つの数値で表現。

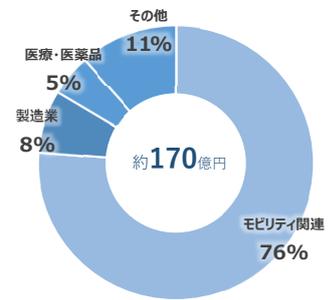
1. 創業時から続く商材数：0個
2. 大手自動車メーカーとの取引年数：約60年
3. M&A後のグループ会社の営業利益：約8倍
4. 大手自動車メーカーにおける技術マニュアルのシェア：約50%
5. グループ全社員のICT人材比率：約25%
6. 5期連続の増配

経営概況 (2022年9月期末時点)

売上構成 |



顧客構成 |



顧客構成においては
注力・主力市場への選択と集中が進む

【顧客構成】

注力・主力市場への選択と集中が進む。

海外拠点 (2022年9月期末時点)

North America

アメリカ



CMC PRODUCTIONS USA INC.

Europe

ポーランド



Maruboshi Central & Eastern Europe Sp. zo.o.

オランダ



Maruboshi Europe B.V.

フランス



Maruboshi Europe E.U.R.L.

Asia

中国



広州国超森茂森信息科技有限公司
広州市丸星資訊科技有限公司
北京国超森茂森網絡科技有限公司

台湾



台湾丸星資訊科技股份有限公司

タイ



CMC ASIA PACIFIC CO., LTD.
Maruboshi (Thailand) Co., Ltd.

シンガポール



CMC ASIA PACIFIC CO., LTD.

海外

8ヶ国14拠点

経営指標

連結損益計算書	単位	20年9月期通期	21年9月期通期	22年9月期通期	23年9月期 予想(※3)
売上高	百万円	17,071	17,331	17,917	18,000
売上総利益	百万円	5,998	6,541	6,860	7,020
営業利益	百万円	1,818	2,277	2,590	2,800
経常利益	百万円	1,827	2,421	2,964	3,000
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	1,354	1,618	2,003	2,100
売上総利益率	%	35.1	37.7	38.3	39.0
営業利益率	%	10.7	13.1	14.5	15.6
経常利益率	%	10.7	14.0	16.5	16.7
当期純利益率 ※1	%	7.9	9.3	11.2	11.7

※1 当期純利益率 = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 売上高

その他の指標	単位	20年9月期通期	21年9月期通期	22年9月期通期	23年9月期 予想(※3)
BPS(1株当たり純資産額) ※2	円	1,103.29	1,194.24	1,315.42	1,473.99
EPS(1株当たり当期純利益) ※2	円	96.64	118.93	150.56	158.57
ROE	%	9.2	10.4	12.0	11.4
ROA	%	9.5	11.9	13.6	12.7
PER	倍	10.1	11.3	7.9	7.5
配当性向	%	25.9	22.7	19.9	22.1
従業員数	名	972	934	909	909

※2 当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
2020年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益を算定しております。

※3 2023年9月期業績予想につきましては、一部、2022年9月末実績とそれに基づく予想値をもとに算定しております。

将来の見通しについて

この資料は、株式会社シイエム・シイ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。以上を踏まえ、投資をおこなう際は、投資家の皆さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

[お問い合わせ先]

株式会社シイエム・シイ 経営企画室 I R担当 052-322-3386

I Rサイト <https://www.cmc.co.jp/ir/>